

## 令和6年度アレルギー疾患対策事業実績報告について

## 1 協議会の開催

## (1) 第1回福島県アレルギー疾患医療連絡協議会

ア 日 時

令和6年9月4日（水）開催

イ 内 容

- (ア) 令和6年度アレルギー疾患対策事業計画について
- (イ) 令和7年度アレルギー疾患対策事業の方向性について
- (ウ) 令和7年度アレルギー疾患基礎調査について

## (2) 第2回福島県アレルギー疾患医療連絡協議会

ア 日 時

令和7年3月6日（木）開催

イ 内 容

- (ア) 令和6年度アレルギー疾患対策事業実績について
- (イ) 令和7年度アレルギー疾患対策事業（案）について

## 2 令和6年度福島県アレルギー疾患オンライン市民講座

## (1) 令和6年度新規動画配信

ア 日 時

令和7年2月20日から配信

イ 目 的

アレルギー疾患の対応に専門的な知識を持つPAE（小児アレルギーエデュケーター）から、アレルギーを持つ子供や家族等の支援者に向けたアレルギー対応のポイントを周知することを目的とする。

ウ 内 容

- (ア) PAE と学ぶスキンケア～年齢別の対応方法～  
公益財団法人星総合病院 黒川和江氏（看護師）
- (イ) 食物アレルギーを持つ方が食の幅を広げるためには～食物経口負荷試験ってなに？～  
一般財団法人竹田健康財団竹田総合病院 良田千秋氏（管理栄養士）
- (ウ) クリニックPAEとしての活動と食物アレルギーの対応～家族で出来ることは？～  
やまみこどもクリニック 松本真理氏（看護師）
- (エ) アトピー性皮膚炎の診断から最新治療まで  
福島県立医科大学医学部皮膚科学講座 山本美友貴先生（3月末配信に向け作成中）

エ 周知

- ・県公式Xへの掲載。
- ・当課ホームページへの掲載。
- ・市町村・保健福祉事務所・県庁内の関係各課・協議会委員へ市民講座周知チラシ（資料1-2）を配布。

## (2) 継続通年動画配信

## ア 内容

- (ア) 大人の「ぜんそく」～どんな検査をするの？どんな治療をするの？～  
 講師：福島県立医科大学医学部 呼吸器内科学講座 斎藤 純平 先生  
 視聴回数：368回 (R7.2.21 現在) (R6.8.19と比べて 78回増加)
- (イ) アレルギー性鼻炎（花粉症）の治療について  
 講師：日本赤十字社 福島赤十字病院 耳鼻咽喉科 多田 靖宏 先生  
 視聴回数：319回 (R7.2.21 現在) (R6.8.19と比べて 62回増加)
- (ウ) 食物アレルギーについて  
 講師：公益財団法人星総合病院 小児科 佐久間 弘子 先生  
 視聴回数：621回 (R7.2.21 現在) (R6.8.19と比べて 136回増加)
- (エ) アトピー性皮膚炎のスキンケアについて～毎日の習慣にしましょう～（乳幼児編）  
 講師：（公社）福島県看護協会 佐藤博子会長  
 視聴回数：201回 (R7.2.21 現在) (R6.8.19と比べて 74回増加)
- (オ) アレルギーを持つお子さんの保育所・幼稚園等の入園に向けて  
 講師：いわき市アレルギーっ子交流会『もぐのび』緑川琴江代表  
 視聴回数：308回 (R7.2.21 現在) (R6.8.19と比べて 90回増加)
- (カ) アレルギーを持つお子さんの入学に向けて  
 講師：いわき市アレルギーっ子交流会『もぐのび』緑川琴江代表  
 視聴回数：334回 (R7.2.21 現在) (R6.8.19と比べて 92回増加)
- (キ) 災害時の対応について  
 講師：いわき市アレルギーっ子交流会『もぐのび』緑川琴江代表  
 視聴回数：130回 (R7.2.21 現在) (R6.8.19と比べて 29回増加)

## イ 周知

- ・令和6年5月10日付けで、市民講座のチラシを市町村、協議会の委員、関係各課、公立幼稚園、小学校、中学校、高校の先生に配布した。
- ・また、子育て支援課と連携し、令和6年8月15日付けで、市民講座のチラシを保育所・認定こども園に配布した。
- ・私学法人課と連携し、私立幼稚園、私立小学校・中学校・高校に市民講座のチラシを配布した。

## 3 アレルギー疾患対策普及啓発事業

## (1) 日時

通年で実施する ※アレルギー月間（2月）では、啓発を強化する

## (2) 目的

正しいアレルギー疾患の知識や治療法について、県民に広く普及啓発する。

## (3) 内容

- ア アレルギー疾患に関する情報を情報誌CJMonmo（9月号と3月号）に掲載  
 県民向けのフリーペーパーにアレルギー疾患に関する記事を掲載し、幼稚園や保育園、県内の遊び場など、子どもや保護者が多く集まる場所に設置

## ●1回目（9月号）

- ・発行日  
令和6年8月25日
- ・テーマ  
アトピー性皮膚炎について
- ・内容  
アトピー性皮膚炎の概要、アトピー性皮膚炎を悪化させないための対策、スキンケアのポイント
- ・講師  
福島県立医科大学医学部 皮膚科学講座 山本 美友貴 先生

## ●2回目（3月号）（資料1-3）

- ・発行日  
令和7年2月25日
- ・テーマ  
小児的花粉症について
- ・内容  
子供の花粉症が増加しているのか、花粉症と風邪を見分けるポイント、対策や治療方法
- ・講師  
公立岩瀬病院 小児科 齋藤淳哉 先生

## イ ラジオや新聞を通して普及啓発活動

## ●r f c いのちを守るキャンペーン 月曜日 15:25～15:35

令和6年8月26日（月）アトピー性皮膚炎 山本美友貴先生

令和6年12月23日（月）入学する際の準備について 緑川琴江氏

令和7年2月24日（月）食物アレルギー 山本美友貴先生

## ●新聞掲載（福島県医師会の御協力）（資料1-4）

- ・民報新聞  
令和7年1月6日（月）小児の喘息 福島県立医科大学小児科学講座 久米 庸平 先生  
令和7年2月3日（月）花粉症 福島赤十字病院 耳鼻咽喉科 多田 靖宏 先生
- ・民友新聞  
令和7年2月3日（月）小児の喘息 福島県立医科大学小児科学講座 久米 庸平 先生  
令和7年2月24日（月）花粉症 福島赤十字病院 耳鼻咽喉科 多田 靖宏 先生

## ウ 大塚製薬の「赤ちゃんの湿疹対策」啓発冊子（資料1-5）

- ・目的：乳幼児のスキンケアの必要性やスキンケアのポイントを普及啓発するため
- ・配布先：市町村の母子保健担当
- ・部数：3年間で30,000部（1年間で10,000部）
- ・使用方法：各市町村の母子手帳交付時等で配布する
- ・内容：大人と赤ちゃんの肌の違い、肌荒れと食物アレルギーの関係性等

#### 4 アレルギー疾患医療中心拠点病院研修医師派遣→1名派遣

- (1) 研修名  
総合アレルギー研修 (B 研修)
- (2) 参加者  
福島県立医科大学附属病院 呼吸器内科学講座 力丸 真美 先生
- (3) 研修日程  
3月10日(月)～3月14日(金)
- (4) 研修期間  
1週間
- (5) 研修場所  
独立行政法人国立病院機構 相模原病院

#### 5 専門職向け研修会の開催 (大塚製薬株式会社:主催、福島県:後援)

- (1) 対象者  
医師・メディカルスタッフ
- (2) 研修日時  
令和6年5月18日(土) 15:00～16:30
- (3) 研修会場  
郡山市労働福祉会館 (対面とWEB配信により実施)
- (4) 研修名  
医師・メディカルスタッフのための小児アレルギー診療実践セミナー (テーマ:食物アレルギー)
- (5) 研修内容  
PAE の方の活動内容、小児科医及び皮膚科医の立場からの食物アレルギーの治療法や予防法等。  
また、アトピー性皮膚炎の治療に有効なスキンケアの際の泡立て方や保湿剤の塗り方を学んだ。
- (6) 講師  
星総合病院 黒川和江氏 (看護師)  
竹田総合病院 良田千秋氏 (管理栄養士)  
やまみこどもクリニック 松本真理氏 (看護師)  
竹田総合病院 木下英俊先生 (小児科 医長)  
福島県立医科大学 山本美友貴先生 (皮膚科学講座 助手)
- (7) 参加人数  
83名 (WEB60名、現地23名)  
医師19名、看護師18名、栄養士8名、保健師12名、薬剤師14名、その他12名

## 6 市町村におけるアレルギー疾患に関する相談実態調査

- (1) 目的  
市町村におけるアレルギー疾患に関する相談対応等の現状を把握し、課題を明らかにする。
- (2) 対象者  
県内59市町村のアレルギー疾患担当者
- (3) 調査時期  
令和6年4月9日（火）～6月30日（日）
- (4) 調査内容
  - ア 市町村におけるアレルギー相談体制に関すること  
(相談窓口、職種、アレルギーに関する研修の受講の有無等)
  - イ アレルギー疾患の相談に関すること  
(相談の有無、相談内容（医療機関への対応紹介等）患者会の有無等)
  - ウ アレルギーに関する啓発に関すること  
(啓発の有無、啓発方法、内容等)